

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・当店オリジナルのキャンペーンの評判が非常に良 く、来客数が前年比107%、売上が同109%と絶好調で ある。例えば、クッキーに紅茶やスティックコーヒー を1つつけただけでも50個くらいあっという間に売れ てしまう。また、朝定食と銘打ったごはん、納豆、 卵、のり、みそ汁のセットが40くらい売れたり、客 が喜んで買ってくれている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・集合住宅向けに商品宣伝チラシを入れたところ、意 外なほど反応があり、休日返上で対応している状況で ある。
	やや良く なっている	百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・今月は紳士フロアで多くのイベントがあり、特に父 の日関連ではクールビズを含めたビジネスシーンでの カジュアルスタイルの提案により、大勢の客が来店し ている。友の会のイベントも大盛況で、有名ブランド オフセールにも多くの客が来店している。
		スーパー（販売 促進担当）	来客数の動き	・父の日関連の購買など、衣料品が全体的に底上げし たことから、3か月前に比べ、店全体で来客数、客単 価共に102%と伸びている。
		スーパー（統 括）	来客数の動き	・健康志向商品や中食が中高年層の支持を受け、動き がより活発化してきている。
		衣料品専門店 （店長）	単価の動き	・空梅雨のために晴れの日が多く、夏物の動きが良 かった。前年同月比で来客数は10%減少したものの、 客単価が高く、販売額は10%伸びている。
		乗用車販売店 （販売担当）	来客数の動き	・客が車にかなり関心を持っており、以前よりイベン ト時の来客数が増えて、カタログの配布量も増してい る。
		住関連専門店 （店長）	単価の動き	・ボーナス需要もあるが、夏物商材を中心に販売量も 前年を上回ってきている。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・愛知万博が予想以上に好評で、前年比で売上が増加 している。
		旅行代理店（営 業担当）	販売量の動き	・農業地帯の当地では、全般にわたる景気の底上げ感 はまだないが、旅行に限っては買い控え傾向に飽きが きている模様で、春以降わずかながら販売量が改善傾 向にある。
		タクシー（経営 者）	お客様の様子	・今年は梅雨に入っても雨の日が少なく、昼間のタク シー利用は減少したが、夜の客が少し良く、前年同月 比で3%の増収となっている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・客単価は前年並みで推移しているが、入場者数が4 月から3か月連続で前年を上回っている。
		住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・この1か月は来客数、売買成約数が多く、全体的に 問い合わせ等は増えてきている。
変わらない		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・6月は7月1日からスタートする夏物クリアランス セールを前に買い控えがあり、来客数がやや少なく なっている。売上も横ばいである。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・中元ギフトは好調な出足であるが、夏物商品はクリ アランス待ちで低調な販売となっている。
		スーパー（総務 担当）	販売量の動き	・今までかなり良かった食品が前年を割ってきている が、住生活といわれる一部家電商材、日用雑貨、雑 貨、家庭用品等は回復基調にあり、全体ではあまり変 わっていない。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・来客数、販売量共に増加しているが、単価がダウン しており、売上はほぼ同額である。
		衣料品専門店 （経営者）	競争相手の様子	・客はバーゲン時期を待って、バーゲン商品の買い回 りをしている。ただでさえ財布のひもが固いところ に、客が賢くなっており、消費に非常に慎重である。
		家電量販店（営 業担当）	単価の動き	・エアコンの動きが良かった前年と比べると70%と苦 戦している。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・毎週展示会を開催しているが、ボーナス需要期に なっても来客数が前年の60%で、一向に増えてこな い。

	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・身の回りの景気はさほど良いとは思えないが、今までは会社の付近だけに出していた広告を県内北部全域に出すようにしたところ、2～3か月前よりは販売量がやや良くなっている。ただし、広告を出さないと売れなくなってしまうのではないかと心配はある。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・5月は若干上向いたが、今月はそれほどでもない。極端に落ち込んでいないが、先の予約の動きも鈍い。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊の大半を平日のビジネスマンが占めているが、年度末から来客数が伸び悩んでいる。今月も平日の客が半減したままで上昇の気配がない。
	都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・今月より宿泊料金を下げたため、稼働率は5%程度上がったが、売上はさほど伸びていない。一般宴会は予定よりは微増したが、単価は依然として低い。婚礼は問い合わせ、来館共に非常に厳しい。
	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・総会、懇親会の単価は一向に上がっていない。会議後の懇親会も激減しており、決して景気は上向きとはいえない。
	観光名所(職員)	お客様の様子	・客の入込状況は例年並みであるが、レストラン、ホテル関係の売上は節約ムードから一部人気の高い店を除いては前年を下回っている。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・今月は髪をきれいにするような特別な行事が少なく、悪天候で売上が悪いということがはっきりしている。売上はこのところ低い線で落ち着いているようで、それほど変化がない。
	設計事務所(所長)	それ以外	・仕事量は3か月前とあまり変わらない。多少忙しく仕事をこなしている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・目的買いの客が主でフリー客が少ない。そのためか衝動買いがないのでレジ回りの商品にも動きがない。
	スーパー(経営者)	販売量の動き	・前年比での伸びが3か月前と比べ2%ほど落ちている。また、一時下げ止まった客単価が、最近また落ち込んでいる。
	スーパー(店長)	単価の動き	・競合店との使い分けで客単価が下がっている。また、野菜類の価格が暴落していることに加え、梅雨に雨が降らないので心配している。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・6月に入り、来客数が著しく減少している。また、客の希望する車種の金額提示がかなり厳しくなっており、契約に結び付かない。
	高級レストラン (店長)	来客数の動き	・予約の客は順調であったが、暑さの影響からフリー客の多くがビアガーデンに流れ、来客数が前年比で10%程度減少している。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・このところ昼、夜の来客数が目立って減少している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ゴルフに来る人が増えているようだが、クラブバスの送迎を利用しており、タクシーを利用するのは1割ぐらいいかない。また、土日、深夜の客が少ない。
	ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・周辺コースの値引き合戦で客単価は下がる一方である。県外のコースで安売りがあるため、遠距離の客は非常に少なくなっている。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・10年以上前の車両の入庫が全体の3割もある。古い車両にもかかわらず、客のほとんどは車検を安く済ませたいと言っている。8～9年経過した車両も2～3割あり、1～2回目の車検である車は1割にも満たない状況である。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・来客数が2～3か月前と比べてかなり減少している。仕事の効率も悪く、落ち込んでいる。
悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数が少ない上に、客は本当に必要な物以外は手を出さない。
	一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・当地域は観光業がメインであるが、旅館等への来館者、宿泊者は少なく、かなり大変な状況である。店の商売もいろいろ手を尽くしているが、思うようにいかない。売上は前月比65%、前年比96.5%と落ちており、かなり厳しい。
	スーパー(経営者)	単価の動き	・野菜の単価の下落が直接響いている。
企業動向	良くなっている	-	-

関連	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量が大変多く、土日に出てもやりきれないほどである。この状況はしばらく続く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、システム開発量が増加傾向にあり、情報化投資を前向きに検討している企業が増えている。取引先の様子をみても、活気に満ちた企業が増えている。
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・需要が伸びず低迷している部門もあるが、工場全体としては生産に忙しい。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年この時期は一時的に大口受注の対応に追われる。通年の状況からみても大した受注変化はない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・夏場に向かい、季節商品の輸送は増えているが、猛暑だった前年と比べると電化製品等は3割ダウンと見込んでいる。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・今月は量販店の業態変更、改装オープンで2週間にわたる売出し企画があり、対抗した近隣店からの出稿がかなり増えたことにより、チラシ出稿量は104.5%とかなり良くなっている。結局、近隣店は量販店に客足を取られた形となり、客足、売上はがた落ちしている。両方で売上を取り合っただけで全体としては変わらなかったと聞いている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・経営再建に向けリストラに着手するところもあれば、再生計画に基づき業績回復に向かっていているところもあり、動きはまちまちである。	
やや悪くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・工場閉鎖に伴う原料の在庫処分が行われたが、各メーカーとも自分の在庫を抱えて買い取る余裕がなく、安価にもかかわらずほとんどのメーカーが断っている状況である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・予想以上に仕事量が減っている。引き合いがあっても、見積の段階でコスト面の折り合いがつかず、成約ができないことが多い。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・度重なるリストラからすでに体力を消耗し、支払が滞る業者が出てきている。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・地域の商業拠点として大きな役割を担ってきた大型スーパーが年内撤退を発表した。競争の激化が要因のようであるが、心理的な影響も含め、地域経済など各方面への影響を懸念している。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新規のスポットコマercialの引き合いが出てきているが、小口化している上に値引き要求が強い。官公庁、大手企業、大手製造業からの年間契約のコマercialの落ち込みを埋めきれず、売上高、利益共に減少傾向にある。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注は減少し続けており、パチンコ関係の取引先だけでなく、通信関係でも減少傾向が始まっている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事中心のため、発注の端境期でもあり厳しい状況である。民間事業開発も継続的に行っているが、なかなか実績が上がってこない。	
雇用関連	良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・地道にやってきた努力の成果で、今月は今までの中でも最高の売上を上げている。かなり注文が入っている。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・地元中堅製造業のリストラや、多人数の中途退職者の募集といった厳しい状況もあるなか、小売業、サービス業でのパート募集と派遣業の募集は多少安定している。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・近年採用を差し控えていた大手企業等からの求人も出始めている。また、厳選採用の企業が多く苦戦が予想されたが、この時期に入り内定獲得者も増えてきており、前年同期比でも1.5倍近い数字になっている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・求職者数は全般的に少ないが、求人は各業種とも出ており、動きが活発である。電子関連は相変わらず堅調である。夏物商品等を陳列してくる時期であるが、販売員の増員はない。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・4～6月は大手企業からの仕事の依頼がほとんどない。

	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・派遣の引き合いもこのところ目立った動きはみられない。派遣の条件規定の厳格な適用、法規の正確な運用を徹底するよう、当局からの要請もあり、昨今の労働市場の流れとして、正社員雇用の促進が図られている。登録者数は前年並みであるが、引き合いが少ないため、契約成立には至っていない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人は減少傾向にあり、平成16年5月以来の低水準となっている。特に製造業は求人数全体の6.5%まで落ち込んでいる。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・在職中の求職者が増加している。条件の良い会社があれば転職したいと考える者が多く、離職が決定している者はわずかである。
	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・繁忙を極めている企業、安定的な企業、リストラを検討する企業と、まだら模様の状況が続いている。
やや悪くなっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・医療、福祉関係の求人がかなり減っている。
悪くなっている	-	-	-